

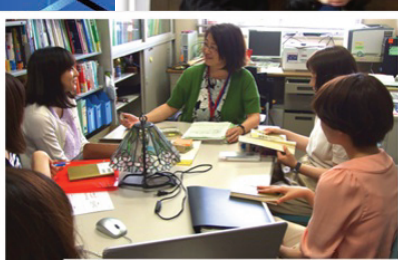
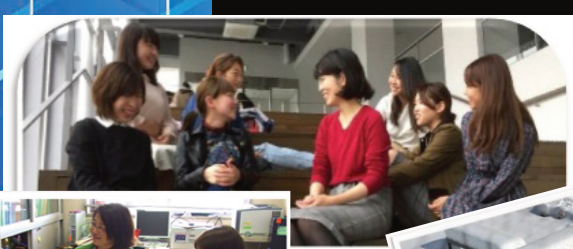


**実践女子大学
生活科学部
生活文化学科
生活心理専攻**



“緩やかな”3つのコースプログラム

- ①公認心理師(国家資格)
- ②家庭科教員(中・高)
- ③キャリア(企業・公務員)





「100日、働いてみました」 1期生たちの声をお届けします

私は発達障害のあるお子さんへの支援をしています。大学在学中に発達支援に興味を持ち、今の仕事に就くきっかけになりました。大変さもありますが、それ以上に日々お子さんとの信頼関係や、お子さんの成長を感じることができ、とてもやりがいを感じています。
(Mさん、地域療育センター)

学部で“生活心理”を学ぶことで「心」に興味を持ち、大学院に進学しました。臨床心理学を通して「心」の奥深さを知るので、多面的な視点が必要なのだと実感しています。学部時代に得た幅広い知識が、現在、一人一人の心を深く理解する基礎となっています。
(Mさん、大学院生)

私は洋服の販売職に就いています。店頭立ちお客様と寄り添い接客業をしています。日々たくさんのお客様と出会う刺激的な毎日です。お客様のありがたさというお言葉が私の励みです。常にモチベーションを高く維持するよう心がけています。休日は、趣味のカフェ巡りやショッピングを楽しんでいます。
(Wさん、アパレル)

働いて3カ月、これまでの努力と経験が総合的に実力となって現れていると感じています。資料作成やプレゼンなど大学で学んだことが役立っています。学生時代の接客アルバイトを通して身につけた接客スキルが、上司との食事や接待の時に役立ちます。学生時代の経験は将来の自分に繋がります！
(Mさん、商社)

介護に対するイメージはネガティブなものでしたが、実際に働いてみるとその思いは払拭され楽しく働いています。仕事柄、身体が不自由になった方、死を目の当たりにする中で、今を一生懸命に生き、興味があるものには積極的に挑戦していきたいと思うようになりました。
(Aさん、高齢者福祉施設)

私は市民課に配属され、国民健康保険や国民年金などを担当しています。難しい制度を覚えるなど大変なところもありますが、人のために働けることにやりがいを感じています。休みの日は大学時代の友人と買い物したりしてリフレッシュしています。
(Iさん、公務員)

保険会社の営業職をしています。自分の担当企業に訪問し、保険商品を提案するのが主な仕事内容です。大変なこともありますが、お客様に喜んでいただけた時にはとてもやりがいを感じ、充実した日々を過ごしています。休日は、好きなことをし、仕事とプライベートの両立を図っています。
(Kさん、保険会社)

仕事は、カウンタースタッフとして、店頭接客や電話対応などを行っています。状況を把握しながら、今の自分に何ができるのか考えスムーズな接客を行えるよう日々勉強しています。また休日は、趣味の時間にあてたり、大学時代の友人と会ってリフレッシュしています。
(Iさん、銀行)